

絆

清水はやと ニュースレター KI-ZU-NA

さいたま市長
清水はやと
2013 (平成25年) 11月号



プロフィール 昭和37年3月生まれ。日本大学法学部卒業後、(財)松下政経塾入塾(第7期生)。埼玉県議会議員(南6区)2期を経て、平成21年5月さいたま市長に当選。平成25年5月に得票数、得票率ともに大きく伸ばして再選。現在2期目。著書は、「2010年霞ヶ関物語」(共著/二期出版)「繁栄の法則」

(共著/TBSブリタニカ)「犯罪のない安全なまちをつくろう」(共著/埼玉新聞社)「さいたま市未来創造図」(埼玉新聞社)。好きな言葉は「素志貫徹」(成功の要諦は、成功するまで続けることにある)。現場から国を変える首長の会、共栄大学客員教授他。

10月26日にさいたま新都心で開催された「さいたまクリテリウムbyツール・ド・フランス」。フランス国以外で初めて開催され、世界中から注目を集めました。メインレースのスターターを務める直前の清水市長



選ばれる都市「さいたま」へ

市民からも企業からも選ばれ「さいたま市」をつくるため、ブランド力の強化にも力を入れた清水市政。その時きつづけてきた芽が10月26日、大きく花開いた。

清水市長は、「人形、鉄道、うなぎなど、さいたま市の特長的資源にも触れていただく格好の機会。市民と一体になって、おもてなし心あふれるまちづくりを進めていきたい」と熱く語る。

世界初「ツール・ド・フランス」

「さいたまクリテリウムbyツール・ド・フランス」は、ブランド強化に取り組む清水市政の象徴ともいうべきビッグイベント。フランス以外での開催が世界初となったこのイベントには、台風の影響が心配されるも県内外から約20万人が来場し、世界130の国と地域にテレビ放送されるなど「さいたま市」の名を世界に知らしめた。

第8回マニフェスト大賞 グランプリ首長部門受賞

得票数、得票率ともに大きく伸ばし2期目の再選を果たした清水市長。1期目において、教育、医療、福祉など市民に身近な政策を含む138のプロジェクト「しあわせ倍増プラン2009」を策定し9割を達成。市民を巻き込んだPDCAサイクルの確立など「抜群の実行力」は市民だけでなく、全国の地方議員等で組織するマニフェスト大賞実行委員会から高く評価され、マニフェスト大賞グランプリを受賞。現在、新たなマニフェストに基づく「しあわせ倍増プラン2013」の本年中の策定を目指している。(詳細裏面)

「世界盆栽大会」誘致決定

政府、盆栽関係者らとともに取り組んできた平成29年の「第八回世界盆栽大会」の開催もこのたび決定した。関係者が築き上げてきた世界に誇る「BONSAI」のブランド力アップが更に期待できる。なお、平成32年の「東京オリンピック」ではサッカー競技会場として埼玉スタジアムが予定されている。

※PDCAとは、業務の質を高める手法の一つ。Plan, Do, Check, Actの略。

公開実現に向けて前進!

しあわせ倍増プラン2013

本年5月のさいたま市長選挙において、清水市長が公約した「新しあわせ倍増計画」に基づいて策定される「しあわせ倍増プラン2013」。市議会や市民の意見聴取(パブリックコメント)等を経て年内の策定を目指しています。

詳細は [しあわせ倍増プラン2013](#) で

さらなる改革に挑む!

行財政改革推進プラン2013

「高品質経営」市役所への転換により、しあわせ倍増プランや成長戦略を下支えするプラン。「見える改革」「生む改革」「人の改革」に分類される54事業から成る。

詳細は [行財政改革推進プラン2013](#) で



あの「ツール・ド・フランス」がやってきた!!

～市民の協力なくしては成しえなかったビックイベント～

感動!
感謝!

自転車ロードレースの最高峰「ツール・ド・フランス」は、オリンピック、サッカーワールドカップとともに、世界三大スポーツイベントの一つと言われています。当日は台風の影響で朝から雨模様でしたが、メインレースがはじまる頃にはすっかり回復し、沿道に集まった約20万人の観客は世界トップレーサーの力走に酔いしれました。

『「さいたまクリテリウムbyツールドフランス」を終えて』市長のコメントより一部抜粋

スポンサーや協賛、オフィシャルサポーターとしてご支援いただきました企業及び市民の皆さん、ボランティアとしてポスター貼り、ピラ配り、コース周辺のゴミ拾い、日仏交流イベント等、広報、大会運営、様々な取り組みによりご協力いただいたボランティアの皆さん、準備、又当日の雨の中、

運営にあたりご尽力いただいたASO、職員、警察、競技関係団体の皆さん、そして当日観覧いただいた皆さん、そして自転車レースの素晴らしさを教えてくれた超一流の選手たちに改めて、感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



時速70km近いスピードで走行する選手たちを応援



世界が注目。130の国と地域で大会の様子が報道される



「さいたまるしえ」でフランスのワインやチーズを堪能



大会発表の記者会見には多くのメディアが集まった



学生有志の応援団が東日本を縦断しながら大会をPR



自らトップセールスを展開し国際大会を誘致

「世界盆栽大会」誘致決定!!

28年
ぶり!

盆栽文化の発展と国際交流を通じた世界平和をテーマに4年に一度開催される「世界盆栽大会」。次の2017年の開催地が「さいたま市」に決まった。世界中の盆栽愛好家や研究者が一堂に会するこの大会が日本で開催されるのは28年ぶり(1989年、旧大宮市で開催)。清水市長は大会誘致のため中国・江蘇省を訪れ、プレゼンテーションでさいたま市開催をアピール。その結果、世界盆栽友好連盟の理事11人の満場一致により開催を勝ちとりました。



プレゼンテーションでさいたま市開催を熱くアピール(中国・江蘇省)



連盟理事へのトップセールスで大会誘致を決める

開催決定の報道は、新聞各紙で大きく取り上げられた(朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞、東京新聞、埼玉新聞)

第1回世界大会開催の様子(1989年、旧大宮市)



安倍首相に大会誘致のご協力をご依頼



世界32か国から盆栽愛好家がさいたま市(旧大宮市)に結集した(出典:「盆栽春秋」1989年6月号より)



現在、平成25年度から4年間を計画期とした「しあわせ倍増プラン2013」の策定を目指している。新しいプランは10分野111事業に及ぶ。

しあわせ倍増プラン2013(素案)

- 子どもと親のしあわせ倍増**
 - (仮称)さいたま市子ども総合センターの整備
 - 認可保育所の増設
 - 放課後児童健全育成事業の充実
 - 保育・幼児教育の推進
 - 保育コンシェルジュの全区配置による保育相談窓口の強化
 - 保育士・幼稚園教諭体験の拡大
 - 子育てパパ応援プロジェクト事業「親の学習」の推進
 - ふるさとハローワークの拡充
 - 女性の再就職支援
 - 女性の起業支援
 - ひとり親家庭高等技能訓練促進費、生活支援給付金支給事業
- 若者のしあわせ倍増**
 - 青少年の居場所事業(さいたま市若者自立支援ルーム)
 - 若者ユースアドバイザーの養成
 - 地域若者サポートステーションの設置
 - ひきこもり支援の拡充
- 高齢者のしあわせ倍増**
 - 高齢者見守りネットワークの構築
 - 24時間訪問介護サービスの推進
 - 介護者サロン・カフェの増設
 - 公認グラウンド・ゴルフ場の整備
 - アクティブチケット事業の拡充
 - シルバーポイント事業(介護ボランティア制度)の拡充
 - シルバーポイント事業(長寿応援制度)の拡充
 - シニアの社会参加を促進する事業の連携強化
- 障害者のしあわせ倍増**
 - さいたま市障害者就労施設等からの物品等の優先調達推進
 - 屋外での移動が困難な障害者のための外出支援
 - 障害者工賃向上プロジェクトの実施
 - ユニバーサル就労の実現
 - 障害者の暮らしを支える住まいの整備
 - 必要のある学校への特別支援学級の設置
 - ユニバーサルスポーツの推進
 - 発達障害者・精神障害者支援の拡充
 - 精神障害者に対する支援の拡充
 - 発達障害者に対する支援の拡充
 - 発達障害児支援の拡充
- 日本一の教育都市**
 - 中高一貫教育の拡充
 - 「国際バカロレア」認定に向けた取組の推進
 - 給食室の全校整備
 - 日本一笑顔あふれる給食～地元シェフと地場産物による食育の推進～
 - 心のサポート推進事業の強化
 - 学校施設リフレッシュ計画の策定
 - チャレンジスクールの拡充
 - スクールサポートネットワーク(SSN)の拡充
- 健康・医療・福祉**
 - 健康**
 - 地域活動団体と協働した生活習慣病予防の推進・特定健診受診率を60%以上に向上(4年以内)
 - 健康マイレージ制度の創設
 - 西区・北区・大宮区・見沼区・中央区・桜区・浦和区・南区・緑区・岩槻区、各区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定
 - 医療**
 - 社会保険大宮総合病院の移転継続・小児・周産期医療の拡充
 - 市立病院の施設整備事業の推進と救命救急センターの設置
 - さいたま市がん対策基本計画の策定、がん対策の強化
 - がん検診事業
 - 福祉**
 - (仮称)生活保護適正化対策本部の設置(1年以内)
 - 生活保護受給者・予備軍自立支援事業
 - ホットラインの設置
 - DV防止対策と被害者支援の拡充
- 文化・芸術**
 - (仮称)さいたまトリエンナーレの開催
 - 盆栽文化の振興
 - (仮称)文化基金の設置
 - 多様な市民ニーズに応える図書館機能の充実
 - 子ども読書活動推進事業
- 安全・安心**
 - WHOセーフコミュニティの認証取得
 - WHO国際ナショナルセーフスクールの認証取得
 - ASUKAモデルの普及や発信
 - 消防団の充実強化に係る事業の推進
 - 防災アドバイザーの育成活用
 - 防災ボランティアコーディネーターの育成活用
 - 中学校での防災教育
 - 高層マンションの自主防災組織等、防災備蓄の推進
 - 身近な地域の防災拠点への支援ゾーン30の推進
 - 通学路の安全対策の推進
 - 交通安全教育の推進
 - 交通安全教室開催事業
- 自然・環境**
 - 見沼・自然**
 - 見沼田んぼの総合情報発信基地の整備
 - 国指定史跡見沼通船堀の保全
 - 新セントラルパーク構想
 - 目指せ日本一!サクラサク見沼田んぼプロジェクト
 - 水辺再生・サポート活動の推進
 - 高沼用水路の整備
 - 滞在型市民農園と農業交流施設の整備
 - エネルギー・環境**
 - 全市立学校のエネルギーセキュリティ確保
 - メガソーラー推進事業～SUN SUN Power Project～
 - 市有施設太陽光発電設備設置プロジェクト
 - 環境にやさしい小水力発電の推進
 - 新クリーンセンター整備によるごみ発電の促進
 - 木質等バイオマスエネルギーの普及拡大
 - 市有施設の屋根貸しによる太陽光発電の推進
 - 市民ファンド等の市民参画による再生可能エネルギーの導入促進
 - 環境センターからサーマルエネルギーセンターへ～西部環境センターと東部環境センターの統廃合～
- まちづくり・コミュニティ**
 - まちづくり**
 - 暮らしの道路、スマイルロードの整備推進
 - 無電柱化の推進
 - 身近な公園整備事業
 - 駅のバリアフリー化の促進
 - 東日本大震災復興支援を含めた卸売市場活性化事業
 - コミュニティ**
 - 自治会加入促進
 - 自治会館の整備促進
 - NPO等との協働事業の推進
 - マンション管理組合への支援の拡充
 - 空き家、空き店舗を活用した地域コミュニティ活性化
 - (仮称)アーバンデザインセンターみその設置
 - (仮称)アーバンデザインセンター大宮の設置

市民一人ひとりが幸せを実感できるまち

日本一地域の絆で結ばれたまち

